



2015年3月期 業績概要

株式会社 安川電機(6506)

(対象期間:2014年3月21日~2015年3月20日)

© 2015 YASKAWA Electric Corporation



1. 2014年度(2015年3月期)連結決算

- 2014年度通期実績 (概要・セグメント別)
- 事業セグメント別売上高構成比
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
- 営業利益増減要因分析(13年度⇒14年度)
- 2014年度における取り組み

2. 2015年度(2016年3月期)通期見通し

- 2015年度通期見通し (概要・セグメント別)
- 営業利益増減要因分析(14年度⇒15年度計画)
- 連結売上高・営業利益推移
- 2015年度における取組み

3. 参考資料

- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S構造の推移
- 四半期連結売上高推移
- 主要生産拠点

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。 なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

セグメント別事業概要



モーション コントロール (M)

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ·EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用 パワーコンディショナ



システム

ロボット **(R)**

【主要製品】

- ・産業用ロボット
- アーク・スポット溶接,塗装ロボット
- FPD搬送ロボット,新世代ロボット, ハンドリングロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオ・メディカル用途向けロボット など



システム エンジニアリング **(S)**

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気システム
- ・大型・小形風力用発電機 など









連続鋳造設備



大形風力発電用 発電機とコンバータ

その他

【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス など



1. 2014年度 (2015年3月期) 決算



•売上高・当期純利益は、過去最高を達成

	<u>14年度</u> <u>実績</u>	14年度 計画	計画比	13年度 実績	<u>前年同</u> 増減額	<u>期比</u> 増減率
売上高	4,002億円	4,000億円	+2億円	3,636億円	+366億円	+10.1%
営業利益	<u>315億円</u>	315億円	+0億円	257億円	+58億円	+22.7%
経常利益	339億円	330億円	+9億円	271億円	+68億円	+25.1%
当期純利益	248億円	235億円	+13億円	170億円	+79億円	+46.3%

[注]表内「14年度計画」は、2015年01月22日 3Q決算発表時の外部発表数値

2014度 通期実績(セグメント別)



• (M) (R)の売上高・営業利益ともに、過去最高

(単位:億円)

		2014	l年度	2014	4年度	計画比	2013年度		前年同期比	
			利益率	計画	利益率	可開加	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	5	4,002		4,000		+2	3,636		+366	+10.1%
(M)	モーションコントロール	1,881		1,880		+1	1623		+258	+15.9%
(R)	ロボット	1,360	_,360 / 1	1,370		▲10	1225		+134	+10.9%
(S)	システムエンジニアリング	410		395		+15	353		+57	+16.0%
	その他	351		355		▲ 4	434		▲83	▲19.0 %
営業利	J益	315	7.9%	315	7.9%	+0	257	7.1%	+58	+22.7%
(M)	モーションコントロール	217	11.6%	220	11.7%	▲ 3	164	10.1%	+53	+32.3%
(R)	ロボット	106	7.8%	114	8.3%	▲ 8	95	7.8%	+10	+11.0%
(S)	システムエンジニアリング	▲ 8	_	▲ 12	_	+4	▲ 0	_	▲ 8	=
	その他	13	3.6%	7	1.8%	+6	11	2.6%	+2	+14.9%
	消去または全社	▲ 13	_	▲ 1 4	_	+1	▲1 4	-	+1	-
経常利益		339	8.5%	330	8.3%	+9	271	7.4%	+68	+25.1%
当期糾	当期純利益		6.2%	235	5.9%	+13	170	4.7%	+79	+46.3%

2014度 通期実績(セグメント別)



モーションコントロール

- ・ACサーボは、中国を中心にスマートフォン、自動車関連の旺盛な需要を背景に、 国内外ともに好調
- ・汎用インバータは、米州市場が牽引し堅調。 一方、太陽光パワコンは、大手電力会社の再生可能エネルギー買取保留の影響 を受け、好調だった前年度に比べ低調

ロボット

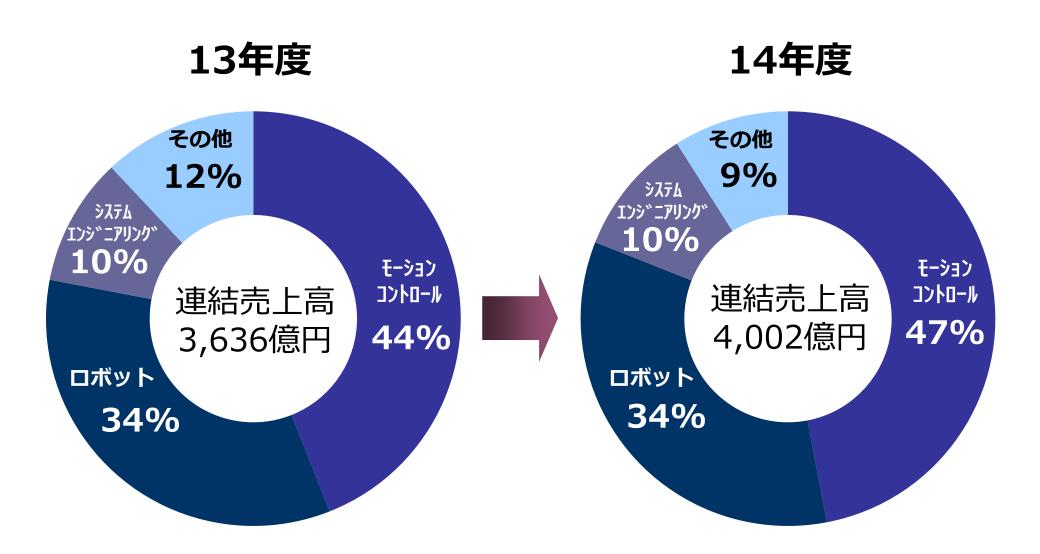
・自動車向けの旺盛な需要により、中国を中心に国内外で好調

システムエンジニアリング

・主力の鉄鋼プラント向けは低調。水処理関連は堅調 Switch社の新規連結子会社化の影響あり

[注] Switch社: The Switch Engineering Oy (フィンランド)







● 米州・中国を中心に海外売上高が前年度比で増加

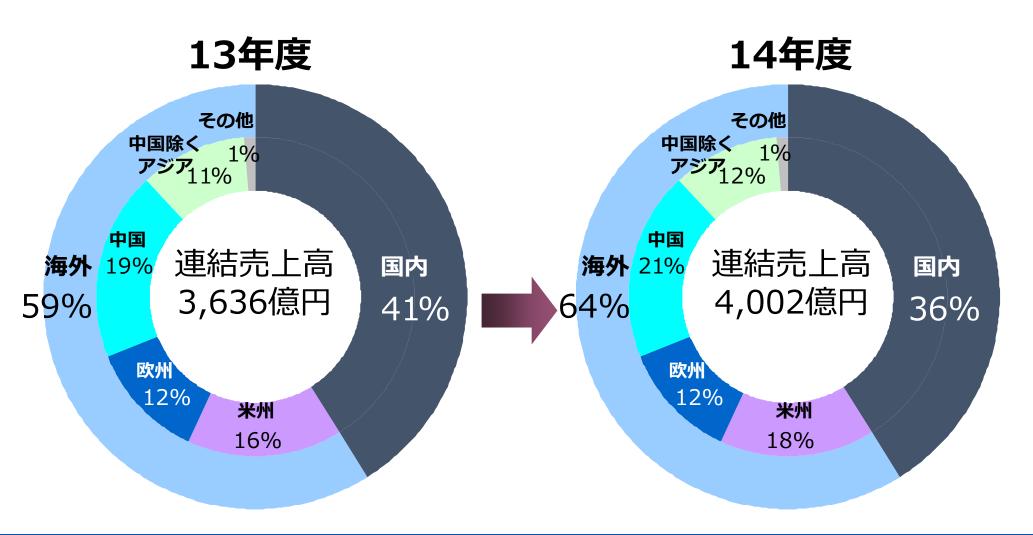
(単位:億円)

		1 4 年度	13年度	前年同期比		
			1 4 千皮	エン十段	増減額	増減率
売上高		4,002	3,636	+366	+10.1%	
	国内 海外		1,442	1,501	▲ 59	▲3.9 %
			2,559	2,135	+424	+19.9%
	米州	726	585	+141	+24.2%	
		欧州	469	425	+44	+10.4%
	中国	中国	850	672	+179	+26.6%
		中国除くアジア	478	414	+63	+15.3%
		その他	36	39	▲3	▲7.8 %

[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含みます



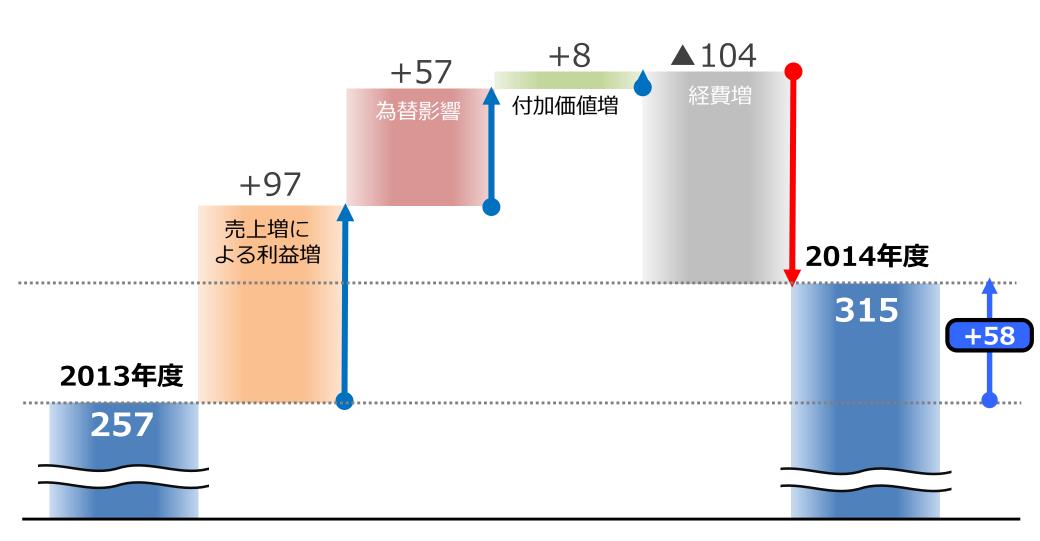
• 米州・中国を中心に、海外売上高比率が伸長



営業利益増減要因分析(2013年度 → 2014年度)



(単位:億円)





●M&Aによる新規事業の拡大

- ・SOL社取得による米国太陽光発電市場への参入
 - → 同社製品によるグローバル展開
- ・Switch社の取得による風力発電用電機品の拡販
 - → 風力、船舶事業へ事業領域を拡大



- ・安川情報システムの持分法適用会社化
 - → IoT/M 2 M事業の強化を加速
- ・ワイ・イー・データの完全子会社化(15年7月予定)
 - → グループー体運営によるシナジーの最大化
- ・安川テクノプレートの吸収合併(15年3月発表)

[注] SOL社: Solectria Renewables, LLC(米国)

Switch社: The Switch Engineering Oy (フィンランド)



SOL社 社屋 外観



Switch社 社屋 外観



Switch社 製品群

2014年度における取り組み(2)



●開発力・生産力・販売力の強化

- A C サーボ ∑-7投入による拡販
 - → 高性能化と同時に、生産効率化による高採算化を実現
 - → 中国市場への投入 (14年9月~)



- → 世界初GaN搭載の新形パワコンを開発
- → JET認証を取得 (15年3月)





- → ロボットセンタ (SI拠点) の展開加速
- → 国内 (愛知) ロボットセンタの着工
- → インドネシア ロボットセンタの竣工 (14年10月)

・ロボット生産体制の強化

- → 中国 常州工場における増産加速
- 国内生産体制の自動化・効率化の推進 (新第3工場の着工)



Σ-7シリーズ







インドネシアロボットセンタ



2. 2015年度 (2016年3月期) 通期見通し



• 主力事業の着実な拡大により、売上高・営業利益・経常利益は 過去最高を計画

	<u>15年度</u>	14年度	前年同	期比
	<u>計画</u>	<u>計画</u> 実績		増減率
売上高	4,350億円	4,002億円	+348億円	<u>+8.7%</u>
営業利益	365億円	315億円	+50億円	+15.8%
経常利益	370億円	339億円	+31億円	<u>+9.2%</u>
当期純利益	240億円	248億円	▲8億円	<u>▲3.3%</u>



• 主力事業が牽引し、売上高・営業利益ともに増収増益

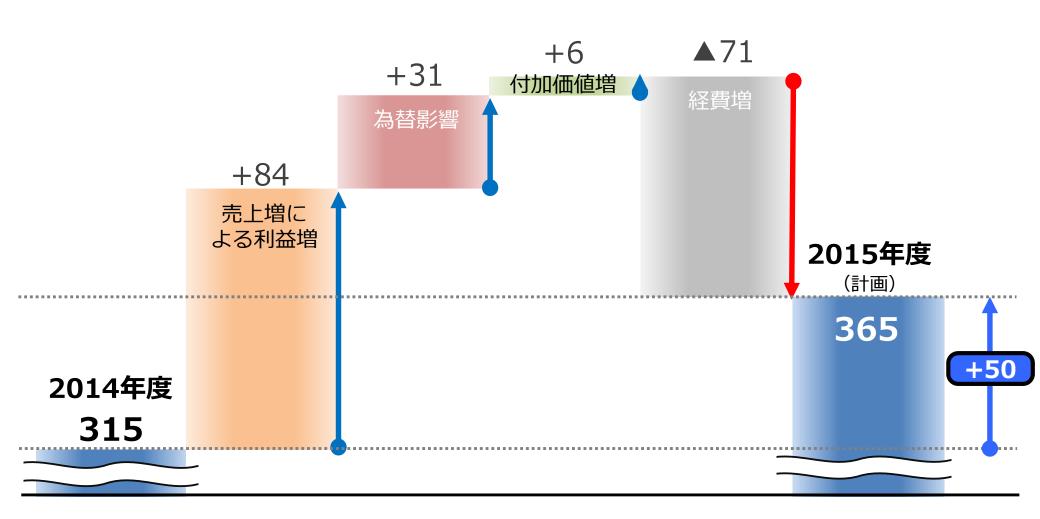
(単位:億円)

		2015	5年度	2014年度		前年同期比		
		計画	利益率	実績	利益率	増減額	増減率	
売上高	3	4,350		4,002		+348	+8.7%	
(M)	モーションコントロール	2,110		1881		+229	+12.2%	
(R)	ロボット	1,490		1360		+130	+9.6%	
(S)	システムエンジニアリング	460		410] /		+50	+12.2%
	その他	290		351		▲61	▲17.4 %	
営業利	川益	365	8.4%	315	7.9%	+50	+15.8%	
(M)	モーションコントロール	253	12.0%	217	11.6%	+36	+16.3%	
(R)	ロボット	126	8.5%	106	7.8%	+20	+19.3%	
(S)	システムエンジニアリング	▲ 10	_	▲ 8	_	▲ 2	_	
***************************************	その他	8	2.8%	13	3.6%	▲ 5	▲37.4 %	
***************************************	消去または全社	▲ 12	_	▲13	<u> </u>	+1	-	
経常和	川益	370	8.5%	339	8.5%	+31	+9.2%	
当期糾	利益	240	5.5%	248	6.2%	▲ 8	▲3.3 %	

営業利益増減要因分析(2014年度 → 2015年度計画)



(単位:億円)



連結売上高·営業利益推移(03年度~15年度計画)





2015年度における取り組み(1)



●既存事業の収益拡大

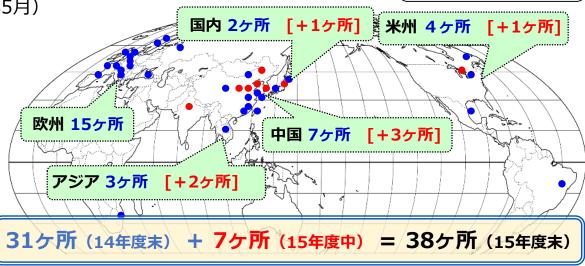
- **・ACサーボ Σ-7の拡販加速**
 - → 米州、欧州、アジア市場への投入
 - → 日本・中国でのΣ-7への切り替え加速
- ・マトリクスコンバータ U1000のグローバル展開
- ・ロボットセンタを活用した一般産業向け売上拡大
 - → 一般産業市場のSIer育成・開拓
 - → 中部ロボットセンタ竣工 (15年5月)
 - → 海外6ヶ所の設立を予定





青字:既存のロボットセンタ

赤字:新設のロボットセンタ



2015年度における取り組み(2)



開発力・生産力・販売力の強化による事業遂行力の強化

- ・次世代主力製品の開発加速
- → インバータの新製品開発
- → ロボット16年度モデルの開発

・グローバル生産体制の強化

- → ロボットのグローバル生産3,000台/月体制の確立 (新第3工場の稼動(15年9月~)
- → Σ-7の中国拡販に向けた瀋陽工場の生産増強



安川電機(中国)機器人有限公司 (ロボット生産工場(常州))

●新規事業の立ち上げ加速ならびにグローバル展開

- ・Switch社とのシナジー創出
- → 世界の主要風車メーカ攻略
- → 船舶用省エネ電気システム事業の拡大

・太陽光パワコン事業の拡大を加速

- → 家庭用パワコンの販路開拓
- → SOL社製品の拡販加速



世界初GaN搭載家庭用パワコン

[注] SOL社: Solectria Renewables, LLC(米国)

Switch社: The Switch Engineering Oy (フィンランド)



3. 参考資料



設備投資、研究開発費、為替状況



◆設備投資の状況

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年	2015年度計画
設備投資額	159.0	169.8	363.7	180.0
減価償却費	81.1	92.2	115.3	135.0

◆研究開発投資の状況

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年	2015年度計画
研究開発投資	107.3	140.3	153.1	150.0

◆為替状況

(円)

ĺ		2012年度				2013年度	Ę		2014年度	Ę	2015年度想定
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
ĺ	対 米ドル	80.1	83.7	81.9	98.2	101.0	99.6	102.2	114.2	108.2	120.0
	対 ユーロ	102.0	109.4	105.7	128.5	136.9	132.7	139.4	139.9	139.7	125.0

(注)期中平均レート

B/S構造の推移

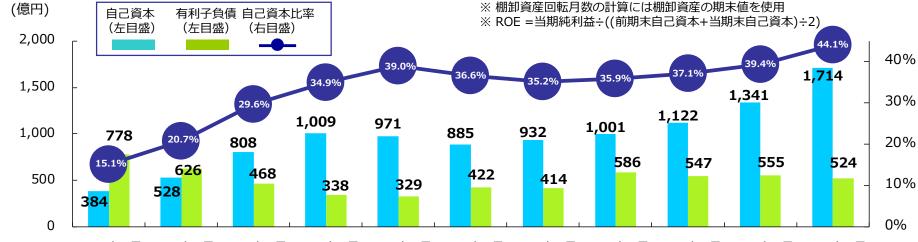


2014年3月20日時点

- > 自己資本比率 39.4% ▶自己資本 1,341億円 ▶ 有利子負債 555億円 ▶ D/Eレシオ 0.41 (ネットD/Eレシオ) 0.24
- 784億円 > 棚卸資産 (回転月数) (2.6ヶ月)
- > ROE 13.8%

2015年3月20日時点

- 自己資本比率 44.1% 自己資本 1,714億円 有利子負債 524億円 D/Eレシオ 0.31 (ネットD/Eレシオ) 0.16 855億円 棚卸資産 (回転月数) (2.6ヶ月) ROE 16.3%
- ※ 有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む
- ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用



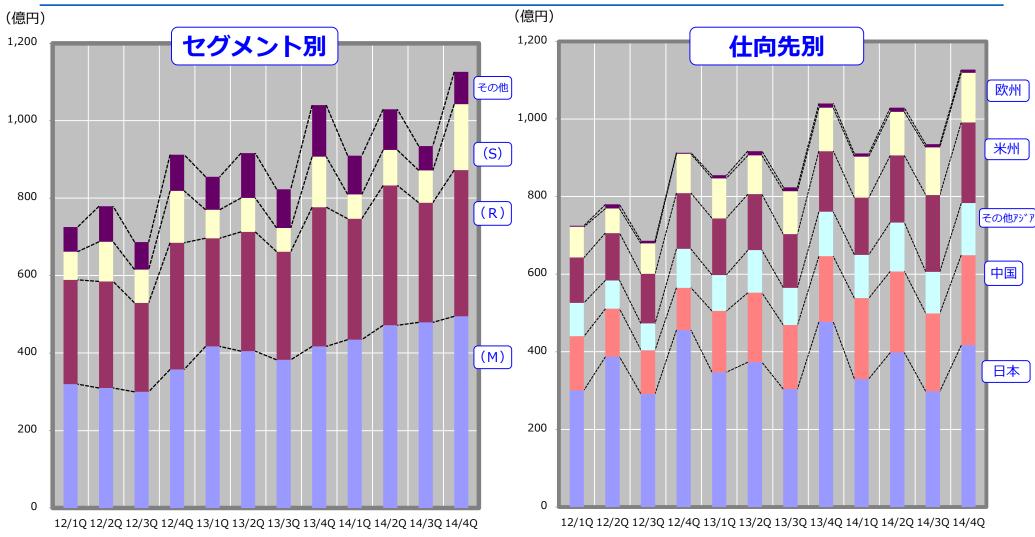
2005年3月 2006年3月 2007年3月 2008年3月 2009年3月 2010年3月 2011年3月 2012年3月 2013年3月 2014年3月 2015年3月

営業CF 投資CF	58	187	150	177	125	40	25	64	246	240	290
投資CF	▲22	▲ 97	▲ 61	▲ 99	▲ 107	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279
フリーCF	35	90	89	78	18	▲24	▲ 43	▲ 55	66	70	11

(億円)

四半期連結売上高推移



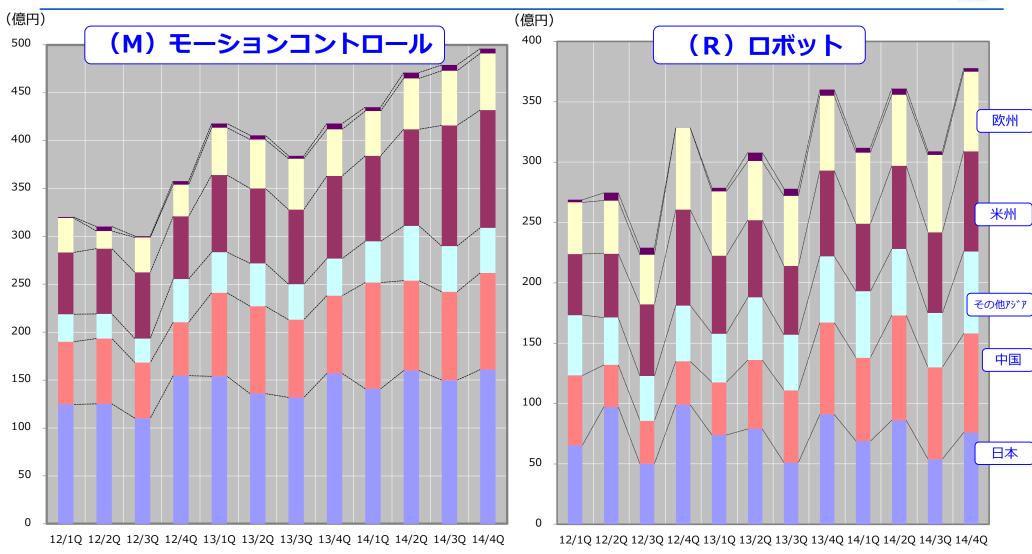


「注] 1. 表記: (M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

2. 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで、12年度1Qまで遡り修正

四半期連結売上高推移





[注] 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで、12年度1Qまで遡り修正

主要生産拠点









安川電機 (瀋陽) 有限公司

YASKAWA Nordic AB

スウェーデン

YASKAWA Electric UK Ltd. スコットランド \

安川首鋼味,外有限公司

YASKAWA Ristro d.o.o.

スロベニア

YASKAWA Robotics India Ltd.

YASKAWA Éurope GmbH Robotics 部門



安川電機(中国)機器人有限公司 中国

YASKAWA India Private Ltd. インド

インド



上海安川電動機器有限公司 中国



安川電機

【国内生産拠点】

- ・八幡西事業所(安川ロボットセンタ)
- ・八幡東事業所
- ・行橋事業所(ドライブセンタ/ シシステムエンジニアリングセンタ)
- 入間事業所(ソリューションセンタ)
- ・中間工場



YASKAWA America, Inc. Drives&Motion 部門

アメリカ



YASKAWA Motoman Canada, Ltd.

カナダ



YASKAWA America, Inc. Motoman Robotics 部門 アメリカ



- 安川電機 国内生産拠点
- 海外主要生産拠点

YASKAWA Elétrico do Brasil Ltda. Motoman Robotica do Brasil

ブラジル



本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が 現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基 づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは 異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を 取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、 為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。